

当院における新型コロナウイルス感染症の発生について

今般、当院におきまして、新型コロナウイルス感染症が発生しました。

7月25日、職員が新型コロナウイルスに感染していることが判明し、その職員と接触のあった入院患者及び職員に対しPCR検査を実施した結果、全員陰性であることを確認しました。

その後、職員1名、患者1名が新たに新型コロナウイルスに感染していることを確認しましたので、接触のあった入院患者及び職員に対しPCR検査を実施した結果、全員陰性であることを確認しております。

現在、新型コロナウイルスに感染した患者さん及び職員は療養中であり、濃厚接触された患者さんは個別に健康観察を行い、濃厚接触した職員等については就業禁止として自宅待機をしております。

なお、今回当院で発生している新型コロナウイルス感染症への対応は、発生当初より保健所と協議の上、必要な対応を取らせていただいておりますので、診療に影響を及ぼすものではございません。

当院は引き続き必要な対応を行い、感染拡大防止に取り組んで参ります。

令和2年8月5日

独立行政法人国立病院機構

小倉医療センター院長 山下 博徳